

平成 27 年

雲南市議会 6 月定例会  
一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成 27 年 6 月 11 日～15 日】

平成 27 年雲南市議会 6 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	6/11(木) 午前 9 時 30 分～	2 / 中村辰眞	一問一答	1, 2	11	6/15(月) 午前 9 時 30 分～	14 / 山崎正幸	一問一答	19, 20
2		16 / 堀江治之	一問一答	2, 3	12		13 / 細田 実	一問一答	21, 22
3	6/11(木) 午後 1 時 00 分～	7 / 細木照子	一 括	4, 5	13	6/15(月) 午後 1 時 00 分～	9 / 周藤正志	一問一答	22, 23
4		8 / 佐藤隆司	一問一答	5～7					
5		12 / 安井 誉	一 括	7～8					
6	6/12(金) 午前 9 時 30 分～	3 / 原 祐二	一問一答	9, 10					
7		4 / 矢壁正弘	一 括	11～14					
8	6/12(金) 午後 1 時 00 分～	1 / 松林孝之	一問一答	14～16					
9		5 / 白築俊幸	一問一答	16, 17					
10		6 / 多賀三雄	一問一答	17～19					

平成27年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表

平成27年6月1日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	2	中 村 辰 真 (一問一答)	1. 戦後70年・被爆70年の節目の年を迎えるにあたっての平和に関する取り組みについて	<p>(1)本年は、戦後70年・被爆70年の節目の年である。</p> <p>①戦後70年を迎えるにあたっての市長の所感を伺う。</p> <p>②核拡散防止条約（NPT）再検討会議は最終文章を採択できずに終了した。日本非核宣言自治体協議会会員であり、「平和を」の都市宣言において非核宣言をしている雲南市長としての所感を伺う。</p> <p>(2)平和教育について</p> <p>①永井隆博士のゆかりの地雲南市の平和教育の現状について伺う。</p> <p>②永井隆博士の生立ちと平和に対する行動や思い、上代タノ先生の行動や人権に対する考え方等を記した教育読本を市として作成しているのか伺う。</p> <p>③今年の「永井隆平和賞」において、被爆70年の節目の年に関連して、特別なイベント等を考えているか伺う。</p> <p>④「永井隆平和賞」に長崎市内の小学校の代表を招待して交流を図ってはどうか見解を伺う。</p> <p>(3)広島・長崎の千羽鶴について</p> <p>①5年前2010年の永井隆平和賞では「千羽鶴を折る取り組み」がされ、全国から12万羽の折り鶴が寄せられた。永井記念館に展示されている物以外はどうなっているのか伺う。</p> <p>②毎年広島・長崎の平和公園には多くの千羽鶴が掲げられている。これらの折り鶴を譲り受け、平和教育の一環として作品づくり等に生かさないか見解を伺う。</p> <p>(4)姉妹都市について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. ヘルプカードについて</p> <p>3. 子ども虐待防止に対する取り組みについて</p>	<p>①姉妹都市アメリカリッチモンド市に対して、雲南省の平和に対する取り組みや考え方はどのように伝えられているのか。</p> <p>②また、それに対する反応はどうであったのか伺う。</p> <p>③合併以前の旧三刀屋町では長崎市との姉妹都市・友好都市に対する動きがあり、雲南省としても同様に動きがあったと聞いている。長崎市との姉妹都市に対するこれまでの経緯と課題、今後姉妹都市を結ぶ考えはないのか伺う。</p> <p>(1)昨年 12 月に雲南省避難行動要支援者の避難支援計画が策定されているが、各地域での取り組みの状況を伺う。</p> <p>(2)この計画は、在宅中や特定場所への外出時に効力を発揮すると考えるが、不特定の場所への外出時に災害に遭った時は、対応ができない。不特定の場所への外出時に有効とされる中に「ヘルプカード」を導入する考えはないか見解を伺う。</p> <p>(1)市役所の一部の公用車にオレンジリボンのステッカーが貼られるようになった。市民の中にも貼ってある車を見かける。全国で未だ子供に対する悲惨な虐待が発生している。雲南省としても現状を鑑み 11 月の強化月間に向けて、例年以上の取組みが望まれる。現段階での取り組みの考えを伺う。</p>	
2	16	堀江治之 (一問一答)	1. 公営企業会計と 地方公会計について	<p>(1)公営企業会計について</p> <p>①既存の公営企業会計(上水道・工業用水道・病院)三会計の事業運営の現状と今後の見通しはどのような状況か伺う。</p> <p>②現在進められている簡易水道事業の公営企業会計移行に向けての進捗</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 米価対策について</p> <p>3. 農業振興商品券発行について</p> <p>4. 高速道路「尾道・松江線」全線開通について</p>	<p>状況を伺う。</p> <p>③簡易水道の固定資産台帳作成における、減価償却費の概算年額を伺う。</p> <p>④下水道事業会計においても、総務省より企業会計の適用を推進するよう求められているが、市の対応方針を伺う。</p> <p>⑤企業会計移行に伴う一般会計からの繰出金についての考えを伺う。</p> <p>(2)地方公会計について</p> <p>①総務省より、統一的な基準による地方公会計の整備促進が求められているが、その対応方針を伺う。</p> <p>(1)昨年米価が大きく下落したが、雲南市単独での米価対策として継続的な助成等の考えはないのか伺う。</p> <p>(2)米の消費対策として、全市的に米粉の活用と、それに対する助成等の考えはないのか伺う。</p> <p>(1)商品券発行の目的は何か伺う。</p> <p>(2)商品券の取り扱い要領等について、農産物、加工品の生産者・販売者・消費者にどのような説明がされたのか伺う。</p> <p>(3)生産者・販売者・消費者に対する行政サービスの公平性をどのように確保されるのか伺う。</p> <p>(1)3月に高速道路「尾道・松江線」が全線開通したが、高速道路に何を期待するのか伺う。</p> <p>(2)期待を実現するための具体的な施策は何か伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
3	7	細 木 照 子 ( 一 括 )	<p>1. 平和教育について</p> <p>2. 統一地方選挙での投票率低下について</p> <p>3. 「無投票当選」に関する選挙法の改正について</p> <p>4. 畜産農家の支援方法について</p>	<p>(1)昔と今では何となく「憲法」の存在感が違う気がしている。特に憲法の3大原則の中の「平和主義」について、義務教育の中で、どのように教えられているのか伺う。</p> <p>(2)雲南市は、『『平和を』の都市宣言』をしている。この精神に基づき、諸施策を実施して市民1人1人に宣言を行き渡らせる必要があると考えるがその取り組みを伺う。</p> <p>(1)今年の統一地方選挙の雲南市の投票率低下の理由をどのように分析しているか伺う。</p> <p>(2)「郵便等による不在者投票」の条件を大きく緩和することで、投票所数減少の影響が少なくなるのではと考える。今年の統一地方選挙での、雲南市の郵便等による不在者投票の実態をどのように判断しているか伺う。</p> <p>(1)今年の統一地方選挙の無投票当選率は、町村長選が43.4%、道府県議選が21.9%、町村議選が21.8%であった。 立候補者が定数を超えない場合には「信任投票」を行うよう、公選法の制度改正を導入することも考えられるが、見解を伺う。</p> <p>(1)子牛の最高価格は90万円台に迫り、去年末より状態はさらに厳しく深刻化した。高くつく輸入飼料でなく、国内産の草や稲藁の確保に向けた共同購入の支援など、早急に支援方法等も抜本的に再検討する必要がある。 農業、林業、畜産業は3点セットのどれかが崩れると、全体バランスを</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 国の農業関係施策の「実施時期」について	失う。適切で緊急な支援について、見解を伺う。  (1)今年の3月議会で「残留農薬の新基準値案について」質問した。農家には、いまだに見直しの具体的な周知が届かない。従来の農薬を従来通り使用して、稲も野菜も植え付けてしまっている。 農業は、前年の11月頃から翌年の農作業の着手に入る。この実態を知らない方々が、いろいろな農業の事を決めてはいないか。中山間地域等直接支払制度にしても、「8月末の協定締結」とは、今年で言えば「舞も神楽もすんでから」になる。こうした国の取り組みについて市はどう考えているのか。また、市民に制度改正などどのように説明されているのか。	
			6. 土壌の育成について	(1)今年国連が定めた「国際土壌年」である。土壌を失うと生態系までも狂うという大切なものだが、いま豊かな土壌に恵まれた雲南市としてその資源をさらに維持発展させる取り組みについて、見解を伺う。	
			7. 高齢者の交通事故防止に向けた、道路標識などの整備充実について	(1)路面の白線や車線変更場所の不鮮明な箇所や標識に汚れが染みて見えにくいなど、特に視力などが弱ってくる高齢者にとっては不便を感じる。また、カーブミラーも小さすぎて、高齢者が難儀される所もある。中央分離帯のある道路では右折進入禁止を二重にも三重にも示す必要性を感じる。事故防止に向けた道路管理について伺う。	
4	8	佐藤隆司 (一問一答)	1. 雲南市行財政改革について	(1)行財政改革は、平成18年3月に策定された「雲南市行財政改革大綱」に基づき、その実施計画である「集中改革プラン」に取り組み、その後平成22年度から平成26年度までの5カ年の行財政改革実施計画を策定し、継続して積極的に取り組まれてきた。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. スポーツ振興 について	<p>①定員管理は、平成17年度に定員管理計画を策定し、平成22年2月に1回目の見直し、平成26年度に2回目の見直しをし、その計画では、平成31年度末には職員数を472人とする計画が策定されている。その妥当性について伺う。</p> <p>②定員管理計画によるこれまでの職員削減による効果額を伺う。</p> <p>③職員削減による効果額を、妥当と考えているのか伺う。</p> <p>④平成26年度の2回目の見直し時に、外部指標である「定員モデル」等の試算を行ったのか伺う。</p> <p>⑤定員管理計画を見直す上で、総合センターのあり方（人員配置等）について伺う。</p> <p>⑥身体教育医学研究所うんなんの運営形態が変更された。行政組織のあり方を見直す上で、業務委託等の考え方について伺う。</p> <p>⑦補助金等見直しをする上で、地域自主組織への交付金額増の考え方について伺う。</p> <p>⑧財政非常事態宣言により、市民への「痛み」を求めてきた。宣言解除後、市民に直結する（自治会活動、文化保存活動）補助金等の考えを見直す考えはないのか伺う。</p> <p>⑨継続してきた事業等で節目を迎える「〇〇何十周年記念事業」への補助金や助成金等を交付する考えがないか伺う。</p> <p>(1)国は、スポーツ庁を設置し、5年後の2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、競技強化や施設整備を進められる。本市も、平成26年11月「健康都市宣言」をされ、先般「雲南市スポーツ推進計画」が策定された。今後は具体的に実施し、取り組むことが必要と考</p>	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>える。</p> <p>①市もこれまで幾多の全国レベルの選手を輩出してきた。競技スポーツの強化策についての考えや強化費の具体策を伺う。</p> <p>②生涯スポーツ活動の推進により健康増進の普及策について考えを伺う。</p> <p>③近年、地域におけるスポーツ活動が衰退傾向にあり、スポーツ行事が成り立たなくなってきた地域もある。現状を認識しているか伺う。</p> <p>④「スポーツ推進計画」の確実な実行により、市内のスポーツ振興の先導組織・団体の役割を十分発揮されることが必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>⑤継続してきた大会で節目を迎える「第〇〇回記念大会」への補助金や助成金等を交付する考えがないか伺う。</p>	
5	12	安井 誉 (一括)	1. 雲南市立病院の 改築について	<p>(1) 病院改築工事の入札参加希望がなかったことをどのように受け止め、現状を踏まえ今後の病院建設に向けた総体的な動きをどのように検討されているのか伺う。</p> <p>(2) 当初計画での事業費は、財政面で厳しく低く抑えた額で提案された。見通しが甘かったのではないか。</p> <p>(3) 計画当初時点より物価や労務単価が上昇したことにより、2度に渡っての見直しをしてきた。その上で建築費に想定価格を加えるには限度があると思うが、今後の対策をどのように考えているのか伺う。</p> <p>(4) 建築費の高騰は、病院運営へ影響を与えるが、市の財政又病院会計の中で建築費の上限をどの程度考えているのかを伺う。設計の見直しは考えられないか。</p> <p>(5) 医師の確保、市立病院利用者の確保には医療機器の充実も必要と考え</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 農林業の振興施策について</p> <p>3. 雲南市農業振興商品券の発売について</p>	<p>られる。医療機器の充実を図るべきと考えるが、その点について伺う。</p> <p>(6) 現状入札不参加、全国的にも不落札がある中では、入札方法（業者選定を含め）を再検討すべきと思う。現状地元優先と言われているが、広く募るべきではないかと思うが、考えを伺う。</p> <p>(7) 入札の遅れによる、今後の改築スケジュールの見込みを伺う。</p> <p>(1) 農業について 雲南市は米作農業から始まり、基幹産業である第1次産業の振興が急務である。零細農家の育成に力を入れるべきと思うが、雲南市独自の政策を早期に打ち出さなければならない。農地の荒廃が急激に進む現状にあって、早急に施策を進めるべきであり、行政の助成が必要である。何をいつ打ち出す考えか伺う。</p> <p>(2) 林業について バイオマス事業推進に対しては、集積と集積場所への搬入に労を要する。その機材を準備し、また利用できるような配慮が必要である。その考えはないのか伺う。</p> <p>(1) 農業振興商品券発売は、地域農業の向上を目的して発売されたものである。全市に行きわたるよう配慮が必要だが、掛合町と三刀屋町には販売所がない。市は、JAとの協議をする中で販売所がないことを知りながら了解をしている。その判断については理解することができない。発売の趣旨と公平性を欠くものと思われるが、なぜ了解したのかを伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
6	3	原 祐 二 (一問一答)	<p>1. 地域自主組織への支援について</p> <p>2. 仕事づくりについて</p>	<p>(1)地域自主組織の活動及び運営において、行政として支援をすべき今後の課題は何だと捉えているのか。</p> <p>(2)地域自主組織の活動は、地域課題の解決により安心して暮らし続ける地域づくりに大きく寄与しているが、マンパワー不足による事業展開の限界が懸念される。 本年度、地域づくりを応援するU I ターン人材を配置する地区は、どのようにして決定したのか、その経過を伺う。</p> <p>(3)今後、地域づくりを応援する人材を希望する地域自主組織への人的支援「(仮) 地域づくり応援隊」を積極的に行っていくのか。</p> <p>(4)地域自主組織の会員である市職員は、地域自主組織との係わり方や活動状況についてどうあるべきと考えているか。</p> <p>(5)地域自主組織への人的支援として、住所地や出身地を考慮した地域担当の職員を配置し、自己の職務に支障のない範囲で地域自主組織の職務に係るよう検討してはどうか。</p> <p>(6)地域自主組織を中心とした住民自治の育成が集落・地域の生き残りであり、自治体消滅の解決策と考える。過疎地域の地域自主組織や自治会への強力な支援が必要ではないか。</p> <p>(1)本市の仕事づくりについて、一次産業の活性化、地場産業の振興など内発的発展による仕事づくりについての所見を伺う。</p> <p>(2)地域経済循環創造事業（総務省）への取り組み状況はどうか。</p> <p>(3)公共施設建設後の維持管理による仕事づくりを見据え、地域経済の循環構造（地元事業所が管理可能な施設）に重点を据えた設計・発注をする考えはないのか所見を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3.在宅医療と訪問 看護について	<p>(1)本市における在宅医療と訪問看護の需要と供給の実態はどうか。</p> <p>(2)若者チャレンジ推進事業として、訪問看護事業の立ち上げ・ビジネスモデル構築に向けた支援が実施されるが、在宅医療を支える人・サービスとの連携への支援体制は図られているのか。</p> <p>(3)在宅医療に係る医療保険以外の本人負担について、負担を軽減する支援状況はどうか。</p>	
			4.公共施設総合計 画とファシリティ マネジメントにつ いて	<p>(1)本市における公共施設等総合管理計画の進捗状況はどうか。</p> <p>(2)本市におけるファシリティマネジメント体制についての検討状況はどうか。</p> <p>(3)既存温水プール（木次・三刀屋・吉田）に加え、新たに健康づくり拠点整備事業として加茂B&amp;G海洋センタープールの温水化が検討されている。施設と環境を総合的に企画、管理、活用する経営活動から量と質の見直しをしていくのか。</p> <p>(4)既存温水プールの課題と今後の運営方針について所見を伺う。</p>	
			5.選挙について	<p>(1)参議院選挙における都道府県合区についての市長の所見を伺う。</p> <p>(2)衆議院選挙において分割されている、選挙区のあり方について市長の所見を伺う。</p> <p>(3)県議会議員選挙の投票率を踏まえた、今後の投票率向上へ向けた取り組み姿勢を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
7	4	矢 壁 正 弘 ( 一 括 )	1. 交通安全対策に ついて	<p>(1)市内の交通死亡災害の対応について</p> <p>①近年、全国的に交通死亡災害は減少傾向にあり、島根県は平成 26 年、交通死亡事故の減少率が全国トップだった。雲南市は交通事故の発生件数は減少しているものの、死亡事故件数は増加している。特に、道路横断中の高齢者が被害者となる事故が多発しているが、市はどのような形で安全に対する注意喚起を行っているのか伺う。</p> <p>②子どもに対する交通安全教育は充実しているが、高齢者に対する定期的な安全講習会等を開催しているのか伺う。</p> <p>③老人クラブ等、高齢者団体と連携を取り合い、しっかりとした対策が取れているのか伺う。</p> <p>④平成 26 年の結果を省みて、平成 27 年は交通安全に対する特別な対策が取られているのか伺う。また、どのような対策なのか伺う。</p> <p>⑤車道と歩道の境界には高さ 20 cm位の歩車道境界ブロックが設置してあるだけで、どこからでも車道に出ることができる。交通量の多い道路や交通事故が多発している場所には、腰高くらいの安全防護柵等の設置や、どうしても開口部が必要な場合は、注意喚起を促す路面標示等の安全対策が取れないか伺う。</p> <p>⑥交通量の多い道路には、ドライバーに注意喚起を促す道路標示・安全看板等の設置を増やしてはと思うが見解を伺う。</p> <p>(2)国道 54 号サイクリングロード整備について</p> <p>①国道 54 号の交通量減少による、地域衰退を解消する地域活性化事業としては期待しているが、今までとは異なる形の事故の発生が予想される。この計画は沿線の住民に十分に説明をされ、協議されたのか伺う。</p> <p>②ツーリング用の自転車はある程度スピードが出るので、接触すれば重</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 雲南市新商品開発及び販路拡大事業制度について	<p>大事故につながりかねない。住民へ交通安全に対し理解を求める説明がされたのか伺う。</p> <p>③走行環境を良くするため整備が行われると思う。ルートのご案内看板等の施設重視のように思われるが、事故が発生しないような計画が検討されているのか伺う。</p> <p>④全国的に、自転車事故に対する災害保険の加入率の低さは問題となっている。この問題について、サイクリングロードを使用される関係機関と十分な連携が取られているのか伺う。</p> <p>(1)市の新商品開発及び販路拡大事業補助金について</p> <p>昨年 10 月に行われた、新産業振興ビジョン策定に伴うアンケート調査で、新サービスの開発、技術の開発向上を考える企業が 28.9%と 3 割近くあったが、その対応としての雲南市新商品開発及び販路拡大事業は、今ひとつ物足りない気がする。</p> <p>①市の公募期間が 40 日間と短い。年間通して申請が出来るようにする考えはないのか伺う。</p> <p>②事業実施期間は交付決定日から翌年 2 月までとなっている。県のように 2 年間とする又は 1 年毎の更新にする考えはないのか伺う。</p> <p>③県の補助金と併用又は上乗せ補助が出来ないか伺う。</p> <p>④第 2 次雲南市産業振興ビジョンで、新商品開発部門は事業拡充のワンストップ経営相談支援事業だと思われるが、どの程度の相談まで受けるのか。新商品開発のアイディアから完成までなのか伺う。</p> <p>⑤この事業の充実を図ることで、より一層の新商品開発が進み、その中から特許出願登録商品が出来れば中小企業の活性化にもつながる。そ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 病児・病後児保 育について	<p>して、後継者問題、経営の縮小や廃業問題の改善にもつながると思う が見解を伺う。</p> <p>(1)病児・病後児保育について</p> <p>①平成 25 年 12 月定例会の一般質問において、新しい子ども・子育て支 援事業計画のニーズ調査の結果を踏まえて適正に判断すると答弁があ った。ニーズ調査の中でも、病気やケガで子育て支援施設や事業を利用 できなかった割合が 80.3%と高く、前回調査の 45.0%を大きく上回 っており、病児・病後児施設の利用の意向は 41.8%である。病後児施 設は三刀屋町に 1 施設増設されるが、今後、加茂・木次にも増設する 予定はあるのか伺う。</p> <p>②今回のニーズ調査の中で、病児施設の利用希望は約 3 割と高いニーズ がある。しかし、今回の計画では病児保育事業は 4 年後に大東町での 設置と後回しとなっている。医師・看護師・保育士・栄養士など専門 スタッフの体制や施設整備等、難題は多いと思うが、より早い段階で の開設が必要と考える。見解を伺う。</p> <p>③今後、病後児保育施設同様に、病児保育施設も増設していく考えがあ るのか伺う。</p>	
			4. 子育て・介護等 支援する「イクボス 宣言」について	<p>(1)男性従業員や部下の育児参加や介護等に理解があり、育児休業等の取得 を促すなど、仕事と育児・介護等を両立しやすい環境の整備に努めるリ ーダーをイクボスと呼ぶ。平成 25 年 12 月定例会の一般質問で、男性職 員の育児休業の取得件数は 1 名との答弁であった。その後取得した職員 はいるのか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(2)前回の答弁で、男性職員の育児休業・介護休業について、取得しやすい職場環境づくりに努めていくとのことであったが、実現しつつあるのか伺う。</p> <p>(3)イクボスがいる環境であると、男性職員のみならず女性職員も働きやすい環境が整い、お互いを尊重し助け合うことでチームワークが向上し、仕事の効率も上がるとのデータも出ている。市として、島根県内の他市に先駆けて市長が、また管理職が「イクボス宣言」をしてはどうかと思うが、市長の考えを伺う。</p> <p>(4)市長が「イクボス宣言」を行い、民間企業の経営者にも広めていくことで、働きやすい・子育てしやすい・介護しやすい雲南市になると思うが見解を伺う。</p>	
8	1	松 林 孝 之 (一問一答)	<p>1. 人口設計について</p> <p>2. 学校施設について</p>	<p>(1)本年度から第2次総合計画のスタートと共に、5年間の雲南市総合戦略が示され、国に提出された。</p> <p>本市の将来の人口設計の中に、25年後の2040年には10代の年齢層が増大する指標が示された。将来の市内の人口分布を考慮した設計数値なのか伺う。</p> <p>(1)3月に策定された「第3次雲南市教育基本計画」と「子ども子育て支援事業計画」に、学校の適正規模・適正配置計画が策定された。その中に、統廃合は地域との合意を最優先に推進し教育環境を整備するとあるが、更新については少子化と施設の老朽化の両面から協議しなければならない。</p> <p>①幼稚園施設については、すでに協議・検討を始めている、あるいはこれから始める施設が示されたが、小中学校については何時示すのか。</p>	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 体育館施設について	<p>また、該当する施設はどこか。</p> <p>②学校施設の耐震改修工事はすべて終了しているが、第2次総合計画の10年間で築50年を迎える施設がどれだけあるのか。</p> <p>③この期間中に人口分布からの推計をはじき出し、更新すべきものは計画的な建設計画を示すべきでは。</p> <p>④学校施設の整備と共に、放課後児童対策も講じなくてはならない。小学校近くの公の施設や、可能性のある民間施設等も視野に入れ、放課後児童クラブを開設し、子育て環境の充実を図るべきでは。</p> <p>(1)平成25年11月に示された「公の施設の改革方針」の中から、体育施設の今後について伺う。</p> <p>①耐震調査を要する施設の調査は、実施されたか。</p> <p>②社会体育施設の老朽化が顕著である。改革方針で「整理対象」とされた施設の中には「指定避難所」がある。近くの学校体育館施設の更新とも整合性を図り、計画を示すべきでは。</p>	
			4. 野球場施設について	<p>(1)市内5つの野球場施設は、ほとんどの施設が建設後30年を経過し、老朽化が著しい。軟式対応球場と硬式対応球場に分類され利用されている。整備内容を明確にし、他市に誇れる球場としての整備をする必要があると考える。大東公園野球場は硬式対応、加茂中央公園野球場は軟式野球のメッカ「雲南市営球場」、木次運動公園野球場は山陰唯一の「ソフトボール球場」として運用、明石公園野球場は合宿や中長期休暇利用といった滞在型の利用促進、掛合野球場は利用度と地域性を考慮し長寿命化など、それぞれ、何かに特化した球場として整備することが1つ1</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				つの存在感を示すと考えるが所感を伺う。	
9	5	白 築 俊 幸 (一問一答)	1. 広域バスの運行 時間について  2. 夢ネットの活用 について  3. 総合センターの 縮小について	(1)広域バスの運行時刻表の作成は、どのように調整し決定されているのか伺う。 (2)利用者からの運行時間変更の要望等に対しては、どう対応するのか伺う。  (1)先の知事・県議選における開票時の報道に対する不満も多かったと思うが、方法等について市から要請等はしなかったのか伺う。 (2)先般、尾原ダムで行われた全日本マスターズレガッタの放映もなかったが、担当部局からの情報提供はなかったのか。 (3)CATV 施設は、市の内外に、地域情報、行政情報、観光情報を発信できる有効かつ効果的なツールである。市として、今後どのように CATV を活用していくのか伺う。 (4)スマホやタブレットが普及してきた今日、市内の公共施設、観光施設、文化施設等に、Wi-Fi スポットを整備する考えはないか。  (1)放課後児童クラブについて ①直営で行っている掛合等においては、指導員の調整が付かない場合、市職員がシフトに入ることもあると聞く。総合センターが縮小されれば、こういった対応も困難になる。又、委託方式にするとしても、地元にはその受け皿がないことが危惧される。どう対応していくのか、見解を伺う。 ②保育料は、母・父子世帯、生活保護世帯に対する減免規定があるが、児童クラブにはない。生活弱者に対する配慮が必要ではないか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 中山間地域等直接支払交付金第4期対策について	<p>(2)事業管理課について</p> <p>①本庁に集約し、地域担当制で対応するとのことであるが、現場と密着した事業展開や指導等を伴う事業管理課について、本当に、市民に不便を掛けない対応が出来るのか伺う。</p> <p>②来年4月からの市の組織再編に伴い、規模が縮小していけば、行政サービスが低下するのは必然である。市民に我慢してくれと、正直に言うべきではないか。</p> <p>(1)超急傾斜農地保全管理加算は、こうした農地を保全する趣旨においては結構であるが、生産だけでなく、商品化・加工・販売まで求めることには無理があるように思うが見解を伺う。</p> <p>(2)全体として、これまでより制度のハードルが高くなっていると思うが、第4期対策は、集落に何を求めているのか伺う。</p>	
10	6	多賀三雄 (一問一答)	1. 市長の政治姿勢について	<p>(1)戦争立法について</p> <p>今国会に提出された「安全保障関連法案」は、「平和」、「安全」と言うがそうではない。憲法違反の法制であり、戦後日本の根本的転換、「戦争しない国」から「戦争する国」への転換である。</p> <p>①日本国憲法の平和主義をどう認識しているか。</p> <p>②「安全保障関連法案」は、憲法違反ではないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 子育て新制度について</p> <p>3. 体育施設の整備について</p>	<p>③「安全保障関連法案」は、自治体にどんな影響があるか。</p> <p>④市民の命に責任を持つ市長として、反対の声を挙げるべきではないか。</p> <p>(2)消費税増税について</p> <p>2014 年度はマイナス成長、個人消費はリーマンショック時以上の落込み。消費税増税と雇用者所得減が原因である。市内業者の方は大変厳しい状況になっている。</p> <p>①8%増税後の市内経済（消費）への影響をどうとらえているか。</p> <p>②市内事業者の8%への増税後の確定申告を終えての実情を把握しているか。</p> <p>③10%への増税反対、5%に戻すよう、声を挙げるべきではないか。</p> <p>④この窮状に対する市の施策の考えはないか。</p> <p>雲南市は幼稚園・保育所を認定子ども園にし、さらに民間委託していく方向だが、新制度は、乳幼児保育に多様な形態を認めるなど子育てについての公的な責任が不明確である。「子育てするなら雲南市」と言うなら、安心して子育てできる環境整備のために、余裕のない保育現場、正規・非正規保育士の待遇の実態を改善すべきである。</p> <p>(1)市の保育の義務・責任は将来にわたって保証するか。</p> <p>(2)保育士の配置と待遇の改善の施策をすべきではないか。</p> <p>大東公園野球場で負傷（裂傷・骨折）事故があった。市民の安全の問題であり、緊急性がある。</p> <p>雲南市の「スポーツ振興計画」は、体育施設の整備をうたっている。中学校・</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>高校・壮年野球が活躍しており、市外・県外からの来訪も多い。それにふさわしい整備をすべきである。</p> <p>(1)フェンス・芝生の修繕を早急にすべきではないか。</p> <p>(2)その他の体育施設についても、危険がないか調査して、整備していくべきではないか。</p>	
11	14	山崎正幸 (一問一答)	<p>1. 日本語指導について</p> <p>2. UIターンの現状と取り組みについて</p>	<p>(1)平成26年9月から平成27年3月までは小中学校で日本語指導の対象児童数が6名で、支援時間数は週あたり延べ50時間であった。平成27年4月から対象児童数が7名となったが支援時間数は週あたり延べ40時間で10時間減少している。その要因について伺う。</p> <p>(2)雲南市の小・中学校における支援時間及び支援体制は、他自治体と比較して劣るものではないが、小学校入学前の幼児段階から支援をする必要があると考えるが伺う。</p> <p>(3)学校により支援に対する温度差があると聞く。島根国際センター、NPOなどと連携し、研修会等を開催することが必要であると考えが伺う。</p> <p>(1)平成17年度から平成26年度までの10年間で、市の定住推進員を介して市外からUIターンされた世帯数は166世帯で人数は398人である。平成23年度から増加傾向にあるが、その要因はどのように分析しているのか、またそれを踏まえ今後どのように取り組む方針か所見を伺う。</p> <p>(2)雲南市の魅力についての情報発信手段とUIターンを希望される方の問い合わせ状況について伺う。</p> <p>(3)地域おこし協力隊などの補助制度等を活用し移住された方は、定められた期間が経過し市内に雇用の場がなければ定住につながらず、雲南市が</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3、総合センターの縮小について</p> <p>4、産業振興について</p>	<p>目指す人口の社会増に結びつかないが雇用についての考えを伺う。</p> <p>(1)新庁舎は8月に完成し、平成28年度から各総合センターの事業管理課は本庁に集約する考えであるが、現時点での検討状況について伺う。</p> <p>(2)市民への説明と今後のスケジュールについて伺う。</p> <p>(3)交流センターに職員を配置し、地域自主組織と協働し持続可能な地域づくり及び課題解決先進地を目指すべきと考えるが伺う。</p> <p>(1)工業振興について</p> <p>①3月に第2次雲南市産業振興ビジョンが策定された。策定方針で厳しい状況を打開するため新たな優位性を活かし、新たな産業活動の可能性を切り開く挑戦を進めることが重要であると明記されているが、方針の考えについて伺う。</p> <p>②神原企業団地への誘致に向けた取り組みについて伺う。</p> <p>(2)農業振興について</p> <p>①農業従事者の高齢化、米価の下落、有害鳥獣による意欲の低下、中山間地域等直接支払制度の更新に伴う協定を締結しない等により、耕作放棄地が増加傾向にあるがその対策について伺う。</p> <p>②売れる良質米を生産、販売する方針と伺っているが、具体的な方策について伺う。</p> <p>③平成29年度より10a当たり7,500円の生産調整金が廃止されるが、市の農業に与える影響と対策について伺う。</p> <p>④担い手の一本化が計画されているが、その意図について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1 2	1 3	細 田 実 (一問一答)	1. 平和行政について  2. 島根原発問題について  3. 子育て支援について	<p>(1)国会で安全保障関連法案の審議が始まった。安倍内閣が集団的自衛権行使容認への憲法解釈の変更を法整備しようとするもので「戦争のできる国」を目ざす「戦争法案」と言われている。地方公共団体の責務も書かれており自治体にとっても「戦争に協力する」体制が求められる。市長はどのように考えるか。</p> <p>(2)自治体に求められる「必要な措置」とはどのようなものか。</p> <p>(3)平和行政を進める雲南市として「戦争をさせない」「戦争には協力しない」姿勢で臨むべきではないか。</p> <p>(1)中国電力は、島根原発1号機の廃炉を決定した。先日の原発特別委員会では、廃炉工程などの説明があったが、これからの計画ということである。使用済み燃料の処分問題、放射性廃棄物、いわゆる核のごみの処分など課題は多いと思う。廃炉に向けて市長はどうした点に留意すべきと考えているか。</p> <p>(2)島根原発から出る放射性廃棄物の処分についても定まっていない。放射性廃棄物は県外に持ち出しての処分(保管)すべき、一方、島根で出したごみは島根で処分すべき(他に押し付けても引き受け手がいない)との意見を聞く。市長はどのように処分されるべきと思うか。</p> <p>(3)廃炉に向けても周辺自治体としてさまざまな問題を抱えることになると思う。意見を言うためにも安全協定の締結を急ぐべきと考えるが締結に向けての現状をうかがう。</p> <p>(1)子ども・子育て支援事業計画が策定された。子育て支援はいわゆる「人口増」対策の中心課題といえる。子育て支援施設の整備では3月所信表</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				明でも述べられている認定子ども園について、3歳児以下の入園もでき地域で安心して子育てできる整備が必要ではないか。住民の要望も強く実施を求める。	
13	9	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 選挙開票放送について  2. 幼保における適正な職員配置について  3. 医療と保健の融合による健康づくり拠点施設の方針変更について  4. サン・チェリヴァ閉店に伴う諸対策について  5. 雲南市観光協会	(1)激戦だった県議会議員選挙は多くの市民が関心を寄せて夢ネットでの開票速報を見守っていたが一度も発表されることなく終わった。「一体何をしているのか」と多くの人が怒り心頭であった。市広報では選挙結果のみ記載されており、原因やおことわりなどなく、しっかりと市民への説明責任を果たすべきだ。  (2)市内のある幼稚園において、園長と2名の正職教諭がともに入れ替わった所があった。加えて27年度は年少児が増えているにもかかわらず、正職教諭が1名に減員され、保護者からは市の姿勢に対して強い不満と不信の声が出ている。これで「子育てするなら雲南市」と言えるのか。  (1)市政懇談会等でも説明し、市民の関心や反響があった事業であることから、今回の大きな方針変更についてしっかり説明責任を果たすべきだ。 (2)身体教育医学研究所うんなんが、かもてらすへ移転したが、方針変更により意義が半減するのではないか。  (1)閉店により、車が運転できない人は大変苦慮されている。何らかの買い物弱者対策をとるべきではないか。 (2)6月から建物が市の所有となる。リニューアルオープンまでには老朽化した建物、設備の更新修繕が必要で多額の費用がかかる。市民に対し、その必要性をしっかりと説明して納得してもらうべきだ。  (1)一般社団法人としてスタートしたが、現在の活動拠点(事務所)は適当	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			について	ではなく、利便性がよく観光客に案内できる所にすべきだ。どう対応するのか。 (2)飯南町観光協会も6月から一般社団法人としてスタートするが、チラシが発行され、イベントも予定されている。それに比べるとあまりに準備、調整不足ではないか。	
			6. 県道木次直江停車場線の改良について	本庁舎建設と国道54号拡幅、関連する県道・市道の改良で里方地区は人の流れも含めて大きく変貌する。出雲市方面から尺の内の事務所等に通勤する人も多いことから、すれ違いもならない所がある。県道木次直江停車場線の拡幅など抜本的改良が必要ではないか。	
			7. 市内の高校における生徒確保について	(1)三刀屋高校、大東高校とも今年度から定員減となったが、定員割れの状態だ。それぞれ独自の魅力化対策も行っているが、例えば始業に間に合うよう出雲から三刀屋までのバス運行はならないのか (2)生徒の確保には、中学生の学力向上が必要だ。スーパーティーチャーが導入されるが、公営塾は検討されているか。	